令和6年6月13日に白塚小学校で開催された 認知症キッズサポーター養成講座に参加してきました!!





包括支援センターのみなさん

白塚地区では地域全体で 「認知症の方にやさしいまち づくり」に取り組んでいます。 毎回4年生のみなさんと 一緒に認知症について勉強 していますが、今年は初めて 保護者の方にも聞いて頂きました。

白塚地区社会福祉協議会 伊藤会長↑

認知症ってなんだろう

認知症は、さまざまな原因で脳の細胞が 死んでしまったり、働きが悪くなったり するために起こる脳の病気です。 生活支援
コーディネーター通信
※生活支援コーディネーターは
※生活支援コーディネーターは
での支え合いの仕組みづくり
での支え合いの仕組みで

令和 6 年 6 月 13 日 Vol.45

白塚小学校 認知症キッズサポーター養成講座

認知症を応援する 目印として 「オレンジリング」が 渡されました。 →



★脳の細胞が死んでしまうことによって直接起こる症状 〇時間や月日、場所、人がわからなくなる

〇考えるスピードが遅く

〇計画を立てられない、計画どおりに出来なくなる

○新しい機械が使えなくなる

★性格や環境、心の状態によって起こる症状

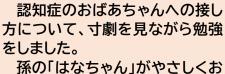
〇元気がなくなる

〇「ものを盗られた」と思い込む

○道に迷って家に帰れない

講座で紹介された↑ 絵本

「ばあばはだいじょうぶ」



孫の「はなちゃん」がやさしくお ばあちゃんに接することで『困り 顔』だったおばあちゃんは安心し て『笑顔』に変わりました。



みんなで認知症の人をささえよう 認知症の人は自分が今までとは違うと感 じ誰よりも苦しんだり、悩んだりしてい ます。周りの人が認知症の人の不安な気 持ちを感じ取ったり、何に困っているの か気づき、優しく声をかけることが大切

第2層生活支援コーディネーターの思い

厚労省によると、2025年、高齢者の5人に1 人が認知症になると言われ、少子高齢化の日本社 会で身近な病気になったと言えます。子どもたち や保護者の大切な人がもし同じ病気になったら、 もし地域で見かけたら、どんな行動が良いのか、 自分には何ができるのかということを考えるこ とができました。認知症の人にもさらに優しい町 となり、そして自分の地域に関心を持つ良い機会 になったと思います。

子ども達の意見

- ・これから知らない人で高齢者の人がいたら、助けてあげたいです。
- ・間違った接し方と良い方がわかった。
- ・劇がおもしろくて、よくわかった。
- 認知症のつらさや大変さがよくわかりました。



発行元: 津市社会福祉協議会 地域福祉課 〒514-0027 津市大門 7-15 津センターパレス 3 階 TEL059-213-7111